

令和4年度第1回理事会 議事録

開催日時	令和4年4月20日(水曜日) 午後3時20分～午後5時50分
開催場所	ZoomによるWeb会議
理事総数	7名
出席者	岡田 まき子、鎌田 洋、川本 牧子、中垣 修、藤崎 和子、山下 征一郎、横尾 敏雄 以上理事7名(敬称略)
資料	「アンケート結果と令和4年度の講座について」
開催目的	前回の理事会の決議により受講生に実施した「9月以降の講座受講について」のアンケートの集計結果による講座の進め方や今後の運営体制の審議

1. アンケート集計結果について

4月1日に行った受講生への「9月以降の講座受講について」のアンケートの集計結果についての報告があった。

「(1) 令和4年度の講座受講希望者」や「(2) 活動の終局について」の結果については、現況として受け止め、「(3) コロナ禍終息後の講座開催について」は、未だ、コロナ禍の終息が見通せないため、今後も講座は、コロナとの共生という社会構造に溶け込んだ「Zoom」によるオンライン講座で行うことで意見が一致した。

2. 令和4年度の講座開催方法について

(1) 募集及び講座開催の判断について

令和3年度と同じ講座名で、7月頃に募集を行ない、応募結果が5名以下の場合、その講座開催の断念もある。

一つの教室で、「研修科1」・「研修科2」のうちのいずれかが5名以下になった場合、研修科として統合する方法もあるのではないかの意見があった。

(2) テキストに等について

令和3年度のテキストを最終テキストとして使用していくこととし、令和4年度は紙のテキストの配布は行わない。パソコンの中のテキストは若干の見直しを行い、講座準備の際に受講生のパソコンにコピーをすることとした。

「テキスト」「練習問題の解き方」「講座のレジュメ」についての見直しは必要か?との提案があったが、話し合った結果、それぞれの見直しは行わないことに決まった。

その結果、「練習問題の解き方」については、不備に気づいたその都度、HP上での訂正は可能であり、「講座のレジュメ」については、各自に任せると説明があった。

(3) 講座運営体制について

提案通り、「令和3年度の講座運営体制」でいくことに決まった。

(4) 講座開催時間について

講座の時間超過の状況から、現在の講座開催時間である「1時間30分」が適切であるかどうか…「2時間」に変更してはどうかの提案があった。

意見を出し合った結果、講師それぞれは、常に「1時間30分」の時間厳守を念頭に講座に臨んでいる。2時間にするため、開始時間を早めたり、終了時間を延ばすことは、受講生の各家庭における制約にもなり、ご容赦願いたい。

また、身体的にも、時間の延長は、極力避けたいことから、今後は、「作成課題」のみの説明を心掛けることで、「1時間30分」の講座開催時間は変更しないことに決定した。ただし、難度の高い練習問題に限り、キープポイントの説明による時間超過はご了解をお願いしたい。

(5) 受講料について

第1案、令和3年度と同様の年間20000円、第2案、年間18000円、第3案、12000円の提案があり、各講師が意見を出し合った結果、第1案と第2案が同数となった。

講座運営体制を令和3年度同様と決めたことから、ひとまず、第1案の「令和3年度と同様に年間20000円とする。」に決め、最終の決定は、4年度の受講生募集の結果により決めることになった。

(6) 講座開始準備について

令和4年度は紙のテキストの配布もないため、Zoomを使用した講座開催準備の手順(対面で行わない方法)を提案された。

受講料の納付方法については、現金書留か銀行振込みのいずれかであるが、決定はしていない。講座開催の場を、唯一、受講生とのささやかな対面の機会と望んではいたが、横尾氏から身近な方のコロナ感染時の大変さを知らされ、まだまだ残るコロナ禍の恐怖から、高齢者である受講生や我々の身を守るため、この開催方法が最適と全員同意した。

3. 令和4年度の活動組織について

(1) 「NPO法人六樹会パソコンサロン」の解散について

令和3年度で本会の基本講座は全て終え、令和4年度以降は、受講生の後フォローの講座として相談サロン(研修科を含む)のみであることから、この機会に、NPO法人としての活動は8月に終えることとして、9月からの令和4年度の講座は新たな組織で活動を行いたいとの提案があり、全員が同意した。

(2) 令和4年度の活動組織について

9月以降の活動については、NPO法人を閉じた後、新たな組織(ボランティアサークル)を発足させる必要があると提案され、受講生の存在に対処していくためにも組織としての運営が必要であるとの意見で全員が合意した。

今後の活動の終局に向かって、新たな組織での活動をどのような意識で続けるのか、今まで通りの会員の集め方でいいか、新しいやり方でいか等々の討議を行った。主なものは、次のとおりである。

NPO法人を解散するにあたり、会員全員が、自分自身を見直し、今後の活動をどうするかを考える良い時期になる。活動のなくなった会員の方々にも今後、受講生同様、パソコンに触れるという機会

を持っていただきたいという観点から、組織はそのまま残しておけばと思う。コロナが終息した後にもみんなで集うことができると思う。

聴講されている会員みなさんが どの様なお気持ちでいらっしゃるか、アンケートを取る前に、直の声を聞きしたい。

(3) その他

① NPO法人の解散、及び新たな組織(ボランティアサークル)の発足の提案について、理事全員の同意を得たことから、次回総会にこのことを提案することになった。

② 総会当日の役割について

司会及び議長を下記のとおりお願いすることとした。その結果、快く承諾された。

司会 ⇒ 中垣 修

議長 ⇒ 山下征一郎

文責(岡田)